# 北広島町火葬場整備基本計画(令和6年3月) 概要版

# 計画策定の目的

本町では現在、3つの火葬場を設置、運営していますが、老朽化が進んでいる施設もあり、施設の維持修繕に多額の経費が必要となることが想定されます。

また、近年地域で執り行われていた葬送から、専門の葬儀会社による葬送や近親者のみで葬儀を執り行う 家族葬など、葬送に対する習慣の変容がみられます。さらに、施設運営の効率化などを含めた、長期的な展望 に基づいた施設整備の対策が求められています。

こうしたことから、現状と課題を把握して整理を行い、今後の北広島町における火葬場のあり方の基本的な方針について「北広島町火葬場整備基本計画」を策定しました。

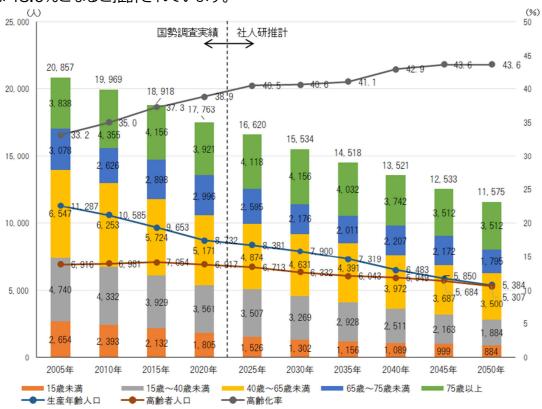
## 火葬場の概要

現状の3つの火葬場についてまとめました。

施設名	净寿苑(芸北)	慈光苑(千代田)	光寿苑(豊平)
外観			
設立年	昭和51 (1976) 年	平成 20 (2008) 年	平成9 (1997) 年
延床面積	93 m²	289 m²	209 m²
火葬炉数	1炉	2炉	1 炉
待合室	なし	1室	1室
平均火葬件数 (H30~R4年度)	約35件/年	約 185 件/年	約55件/年

# 人口の推移と将来の推計

合併した平成 17(2005)年と比較して、令和 2(2020)の人口は、3,094 人減少し 17,763 人となって おり、高齢化率は 38.9%と約 5%上昇しています。令和 32(2050)年には人口が 11,575 人まで減少し、高齢化率は 43.6%となると推計されています。



#### 必要火葬炉数について

火葬炉数は一般的に死亡者数のピーク時における稼働日平均の火葬件数で考えられ、推計から稼働日平均の火葬件数は1件程度になります。

このことから、本町に必要な火葬炉数は2炉となります。2炉あれば1日最大4件の火葬が可能です。

## 【理由】

- 現在の町内の年間火葬件数は300件程度です。
- 人口の減少、死亡者数の減少から、今後更に火葬件数の減少が予測されます。

## アンケート調査について

火葬場のイメージや、欲しい機能、立地について、町民にアンケート調査を実施しました。

その結果、設備については、待合ロビー、待合室、誰でもトイレを求める声が、立地については、葬儀会場からの近さを求める声が多く寄せられました。

## 【調査内容】火葬場に設けて欲しい機能



## 【調査内容】火葬場の立地に求めるもの



## 整備方針

今後の維持管理経費や火葬件数、北広島町に必要な火葬炉数を見込んだとき、将来にわたって 3 施設を維持していくことは困難です。

また、候補地としては、町有地を活用する方が望ましく、道路交通環境、町内中心や人口重心(住んでいる人口に対する中心点)など諸条件を検討しましたが、現段階では適当な候補地は見つかりませんでした。 これらをふまえて、整備方針を次のとおりとします。

- 火葬場は町内1ヶ所に集約します。
- 当面は、火葬炉を 2 炉そなえた比較的新しい千代田地域の慈光苑を活用することとし、要望の多い 待合環境等を整備した上で、光寿苑(豊平地域)と浄寿苑(芸北地域)の 2 施設を閉鎖します。
- 将来的に、慈光苑の設備の大規模更新や老朽化等による施設の建替が必要となる時期において、 新たな火葬場の設置に向けての協議・検討を行います。

## 【図】想定する整備スケジュール案



- ※火葬炉の耐用年数を30年で想定しています。
- ※慈光苑の改修が終わった時点で、浄寿苑・光寿苑の火葬場は閉鎖予定です。
- ※浄寿苑及び光寿苑で大きな修繕があれば時期を待たずに順次閉鎖します。